

令和6年度 静岡県立科学技術高等学校第3回学校運営協議会議事録

開催日時	令和7年2月14日(金) 午前10時00分から正午まで
開催場所	静岡県立科学技術高等学校 応接室
出席委員	会長 増田 一 (静岡科学館「る・く・る」次長) 副会長 三倉 和彦 (静岡県発明協会 事務局長) 追分 敏則 (長沼2区町内 会長) 佐藤 克彦 (いなば食品株式会社 静岡業務部部長) 平井 康正 (本校卒業生保護者) 室伏 春樹 (静岡大学教育学部 講師)
学 校	小野 聡 校長 田中 学 副校長 今野 由季子 教頭 長田 正文 教頭 鈴木 章司 事務長
傍 聴 者	なし
協議資料	令和6年度学校経営報告書(自己評価)【全日制】 令和6年度学校関係者評価実施用紙【全日制】 ピックアップ 生徒心得【全日制】 令和6年度 学科別進路状況【全日制】 令和6年度 部活動実績【全日制】 令和6年度 資格検定合格者数【全日制】 令和6年度 新聞掲載記録 6月から1月【全日制】 令和6年度 学校経営報告書【定時制】 令和6年度 学校関係者評価実施用紙【定時制】 令和6年度 部活動実績【定時制】
備 考	<p>1 開会 副校長が開会を宣言し、永井委員が欠席であるものの、過半数以上の委員の出席があることにより本会議の成立を確認した。</p> <p>2 校長挨拶 ・学校PRのため、できるだけ情報発信につとめている。学校HP閲覧数はこの3年間に350万回、本日571万件となった。 ・ピックアップと言う色刷りの特集号を作成した。年末の海外研修は同窓会の援助のもと、台湾を20人の生徒が訪問した。 ・地域連携の取り組み、ボランティアには生徒がたくさん参加している。</p>

3 議事

増田会長が、本日の協議会の傍聴希望はなかったことと、本日の流れを説明した。

(1) 事務局が令和6年度学校経営報告書【全日制】についてア～エの4つの項目ごとに説明

(2) 事務局が令和6年度学校関係者評価実施用紙【全日制】の意見・質問についての説明

(3) 事務局の自己評価の考え方及び委員からの質問について事務局が説明
ア 日常の学習習慣を定着させる。

・「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒90%以上について

Q：普通教科と工業科目の集計は区別しているか

A：していない。検討する。

・1日の授業、課外活動、家庭学習の合計学習時間が10時間となる生徒50%以上

Q：授業時間は変わらない以上、課外活動や家庭学習の時間が問われる。既進学者や就職者の情報として生徒にデータを還元できないか。

A：C-learningで情報発信していきたい

・教養力テストの実施

Q：教養力テストの代替案はあるか。又は、主体性を育む方法はあるか。

A：当初は、就職者向けの対策であったが、進学者が増えた。就職希望者でも、8割以上の生徒が自分で対策できたと回答していること、教員の負担も大きいことから廃止したい。

・手帳やICT端末の活用等により、「生活習慣を整え、学習時間やスケジュールの管理ができています」と答える生徒60%以上

Q：端末でのスケジュール管理は可能か。教員、生徒だけでなく、保護者も活用できるようにインターネットカレンダー形式(iCAL)による情報提供は可能か。

A：端末での管理 google カレンダー、iCAL など、試行して徐々に移行していきたい

・個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する

・国公立大学合格者70人以上

Q：推薦での合格者人数のみでは判断できない部分があるが、例年通りであれば到達できるという判断か。推薦合格者人数と、共通テスト受験者数を分けて指標化してはどうか。

A：御意見を踏まえ、指標化したい。理工科24人、工業科15人が共通テスト利用受験である。

・部活動については、別冊資料をご覧ください

・地域連携、ボランティアについて生徒主体の活動を推進する。

Q：「増加」が目標なので、増加しているならAで良いと思うが、増減は達成状況欄に記載されていない。

A：104人の生徒が今年参加した。次年度から数値目標を掲げる。

ウ 持続可能な社会の一員としての素養を育成する。

・「身だしなみがしっかりできている」と答える生徒95%以上

Q：生徒心得に関して生徒の自主性も尊重したい。

A：従来行っていた教員による、期日を設けた頭髪服装検査を廃止し、生徒自身が考えて「面接試験にふさわしい」身なりを生徒が心がけるようにした。

佐藤委員：自主性の尊重も大事だが、前年から数値が減っているということを確認してほしい。

室伏委員：生徒心得の、「気持ちの良いあいさつ」について、「相手の目を見て」など具体的な言葉が入るとわかりやすい。

・生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数 2冊以上

増田会長：読書した数と、貸出数は同じではない。読書冊数も視野に入れてほしい。

(4) 委員が評価を行った。

増田会長が、各項目について発言を募りながら関係者評価を行った。

ア 個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する

・「自分の将来に対する夢や希望を持っている」と答える生徒80%以上 B→A

・「信頼できる先生がいる」と答える生徒80%以上 B

佐藤委員：学年が上がるにつれて数値が上がっており、Aでもよいのでは。

校長：ここはBとする。

ウ 持続可能な社会の一員としての素養を育成する

・「挨拶がしっかりとできている」と答える生徒95%以上 B→A

・「身だしなみがしっかりできている」と答える生徒95%以上 B→A

増田会長：これからの向上を期待してAとする。

以上で全日制の学校関係者評価が終了した。

次に、定時制について協議した。

- (1) 事務局が令和6年度学校経営報告書【定時制】についてア～エの4つの項目ごとに説明

ア 個々の生徒のニーズに対応した教科指導を行う

「大学生等による個別指導 50 時間以上」については、昨日達成できた。予算が昨年の6割に削減され、時間数も減少した影響による。

イ 基本的な生活習慣を定着させる

「年間皆勤賞 10%以上」について 皆勤賞を廃止し、感染症拡大防止や、体調管理を重視する。

- (2) 事務局が令和6年度学校関係者評価実施用紙【定時制】の意見・質問について説明した。

- (3) 事務局の自己評価の考え方及び委員からの質問について事務局が説明した。

- (4) 委員が評価を行った。

増田会長が、各項目について発言を募りながら関係者評価を行った。

イ 基本的な生活習慣を定着させる

「あいさつができているとこたえる生徒 80%以上」について、目標と達成状況の内容が異なるのは、予定の質問をアンケートで実施できなかったため。

イ 就業意識を向上させる

「1年生 10%以上」について、「1年生が三修制 10%以上」と具体的に表記を改める。

ア 個々の生徒のニーズに対応した教科指導を行う。

大学生等による個別指導 50 時間以上 B→A

イ 基本的な生活習慣を定着させる

年皆勤賞 10%以上 B→A

あたたかみある教育活動を推進する B→A

佐藤委員：目標回数を超えているので、Aとしたい。

ウ 交通安全教育 交通事故件数0件 B→C

佐藤委員：事故件数は3件から5件に増えている。一方、生徒数が56人から58人と増加割合は少ない。

校長：定時制生徒は夜間の登下校であり、今後重点的に気を付ける。

人権意識の向上を計り、個性を尊重する精神を涵養する B→A

エ 公務の円滑、かつ適切な実施を推進する

業務改善提案を募る B→A

コスト意識を醸成し、消費電力量を削減 B→A

以上で、定時制の学校関係者評価が終了した。

4 校長が、「令和7年度学校経営計画」案について説明した。

委員からの質問：

この取り組み目標や、成果目標について、ひな形のようなものが県から示されるものなのか。それとも各校で独自に作成するものか。

事務局：各校で作成している。

副校長が閉会を宣言した。